

2016. 11. 15 第57号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
http://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様

ふかわ秋祭り

涼やかな秋空の下、年に一度の恒例行事「秋祭り」が盛大な賑わいの中、10月30日に行われました。今年も島根県の日脚神代神楽社中の皆様をお招きして、迫力のある神楽の舞いを披露して頂きました。特に演目の最後を飾る「大蛇」はダイナミックな動きで、ご入居者に人気の演目となっています。また新しい催しとして、ふかわ秋祭り料理コンテストを取り入れました。若手の調理師が腕によりをかけて作った料理を皆様に食べて頂き、投票により優勝した料理は献立へ取り入れる事を検討しています。このように、秋祭りを通してご入居者の普段とは違う表情や参加して頂いた方々が楽しまれている様子を見られる事が、我々職員にとって一番の楽しみです。来年も皆様の笑顔に出会えるよう、頑張りたいと思います。

(ふかわ・くにくさ 相談員 山崎 結依)



Autumn Kunikusa

阿戸敬老会

9月17日(土)くにくさ苑、りはくにくさで敬老祝賀会が開催されました。ご利用者の元気な乾杯の掛け声から始まり、毎年恒例の新人職員によるよさこいソーラン節が披露されました。迫力と熱気のある踊りに自然と拍手や掛け声が聞かれ、大いに盛り上がりました。会場からは何度もアンコールの声が聞かれ、それに応え一生懸命に踊る職員の姿をご利用者の皆様、目を輝かせてご覧になっておられました。この日の踊りを毎年楽しみにしておられる方は、「今年も良かった」「最高」と満面の笑顔がたくさん見られました。そして栄養課がこの日の為に心を込めて用意した祝膳は、皆様「美味しい」としっかり召し上がっておられました。またカラオケも行われ、懐かしい曲が流れると、一緒に歌われる方、耳を傾けられる方、皆様思のおもいに祝賀会を楽しんでおられました。来年の敬老祝賀会も、皆様に楽しいひと時を過ごしていただけるよう職員一同取り組んでいきたいと思っております。

(くにくさ苑 介護職 武田正登)





**介護老人保健施設
ふかわ・くにくさ
迫 信宏**
広島国際大学
医療経営学部出身

今回、そこで暮らしている高齢者やそれを支える若者はスウェーデンという自然豊かな生活の中でゆったりとした、それでいて人との付き合いの中には愛というものが感じられる。そんな中で私はとても良い刺激を受けさせていただきました。



**介護老人保健施設
ふかわ・くにくさ
廿日出 翔太**
広島国際大学
医療福祉学部出身

約三週間の間スウェーデン研修に行かせて頂きました。今回の研修で、コミュニケーションをする上で、相手の気持ちを理解しようとする気持ちや、姿勢が大切だということが変わりました。言葉が通じず、コミュニケーションが難しい方でも、違う方法を考え、工夫して、諦めずに関わることで、相手の気持ちや伝えたい事を理解することが出来るかもしれません。これからは、コミュニケーションの時間をもちと大切に、ご入居者のその時の気持ちや感情を一番に考え、より良い支援が出来るように心掛けようと思います。

パティレ市と業務提携



医療法人社団・社会福祉法人あと会では、平成18年から続くスウェーデンとあとの現場同士の研修制度について、平成28年度からはスウェーデン ボロース市に代わり、パティレ市と契約を締結致しました。スウェーデン パティレ市は、人口およそ37,000人。スウェーデン第二の都市である、イエーテボリ市から車で15分の距離にあり、豊かな自然に囲ま



れながら都市部の機能も併せ持つ豊かな地方都市です。契約締結に際して、パティレ市より、市議会議員2名と施設長、現場の主任2名が、来広しあと会の各施設を視察いただきました。今後、あたらしい提携先であるパティレ市と現場主体の前向きな交流を通じて、サービスの質の向上に努めて参ります。

Green・Café&サロンを開催

*カフェでは・・・

外に出たいけど行く場所がない
一人では寂しいから誰かと話したい
物忘れが気になる
家族の介護をしていて息抜きをしたい
皆さんと一緒にお茶をして楽しむことが出来ます

*サロンでは・・・

介護疲れ、ストレスが発散したい方
どんな事でもお話伺います
悩みを何でも相談してください
例えば、

介護方法について（オムツの当て方、移乗の方法など）も相談に乗ります
認知症の対応について等どんな事でも話してみてください
同じ介護者同士で話をする、情報交換が行える場としても活用できます

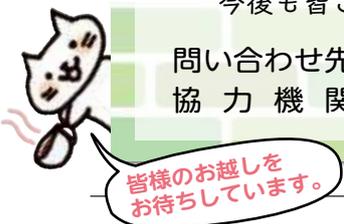
専門職員（管理栄養士、訪問看護師、包括支援センター、施設相談員、理学療法士など）が相談受付日もあります

*イベントなども行います

パン作り、ケーキ作り、ロコトレ体操
今後も皆さんの希望を伺いながら行っていく予定です。



問い合わせ先 特別養護老人ホーム くにくさ苑 担当: 室谷 ☎082-856-0222
協力機関 広島市阿戸・矢野地域包括支援センター ☎082-889-6605





はじめまして。私の名前はナタリー・シスルです。私は18歳で、

ドイツから来ました。日本の文化と言葉は面白いので日本に来ました。一年間、でじま・くにくさでボランティアの仕事が出来ることを喜んでいきます。私は日本の食べ物大好きです。例えば、お好み焼きや寿司やたこ焼きなど、そして、日本のアイドルグループが好きです。よろしくお願ひします。

ドイツから留学生を迎えて でじま・くにくさ



はじめまして。私はユリアネ・キューネで、18歳です。ドイツから

来ました。日本語と日本の文化や日本の食べ物は大変面白いと思うので、日本へ来ました。日本で私は色々な経験をしたいです。まだまだ日本語が上手ではないので、日本語で話すことが難しいですが、でじま・くにくさの仕事は楽しいです。どうぞ、宜しくお願ひします。



家族会 Family Meeting

くにくさの家では、10月15日に家族会を開催しました。この日は、フラダンスサークル「オハナ」のフラダンスを鑑賞し、お茶会を行いました。「オハナ」はハワイ語で家族、仲間という意味です。音楽が流れ、踊りが始まるべくにくさの家の雰囲気が一変。笑顔が絶えず、フラの音楽に合わせご利用者・ご家族も楽しまれておりました。フラダンスの後は、紅茶を飲みながらゆっくりとお話を楽しまれました。本当に楽しい時間になり、ありがとございました。来年度もまたパワーアップした家族会にしようとして職員一同意気込んでおります。

くにくさの家 鍵山 清香



介護の知恵袋



寒くなると外出せずに家の中でじっと座っている事も...



そんな時に急に立ち上がって転倒したり時には、血圧の変動で意識がなくなったりまた、急に呼吸が苦しくなることも



長時間の同じ姿勢はさけて間で手足をしっかりと動かしましょう

葉の色が秋らしく色づいてきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

阿戸エリアでは、9月17日に敬老会を開催し、新人職員がソラン節を踊るなどして職員一同でご利用者の皆様をお祝いしました。ふかわエリアでは、10月30日に毎年恒例の「秋祭り」を行い、神楽の迫力に魅了されました。各拠点で行われた秋の行事に皆様とても喜ばれておりました。

そして、でじまエリアでは、今年もボランティア留学生をドイツから2名迎え、よりいっそうにぎやかになりました。日に日に寒さが増してきていますので、体調を崩さないよう皆様どうぞお気を付け下さいませ。

でじま・くにくさ 篠崎 理沙

編集後記

12・1月の行事予定

12月 クリスマスもちつき

1月 元旦祝賀会
初詣
鏡開き

このほかにも、毎月ショッピング、コンサート、誕生日会を行なっています。